



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

No.419 2017.1.18

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

豊洲新市場

汚染の全面調査、 移転の抜本的再検討を

最大79倍のベンゼンを検出 日本共産党都議団が知事に緊急要望

申し入れ後に記者会見する(左から)清水ひで子、かち佳代子、そねはじめ、尾崎あや子、米倉春奈の各都議 16日 都庁



1月14日に発表された豊洲新市場予定地の地下水モニタリング最終調査で、環境基準の最高79倍のベンゼンやシアン化合物、ヒ素など、201カ所の観測井戸中72カ所で基準を越えました。この事態を受け、日本共産党東京都議団は16日、緊急に小池都知事に面会し、要望(下記)を申し入れました。

これに対し小池知事は、「今回の要望については共有する部分もある」、「しっかりと考えていきたい」と答えました。



都議会議員(北区選出)

そねはじめ

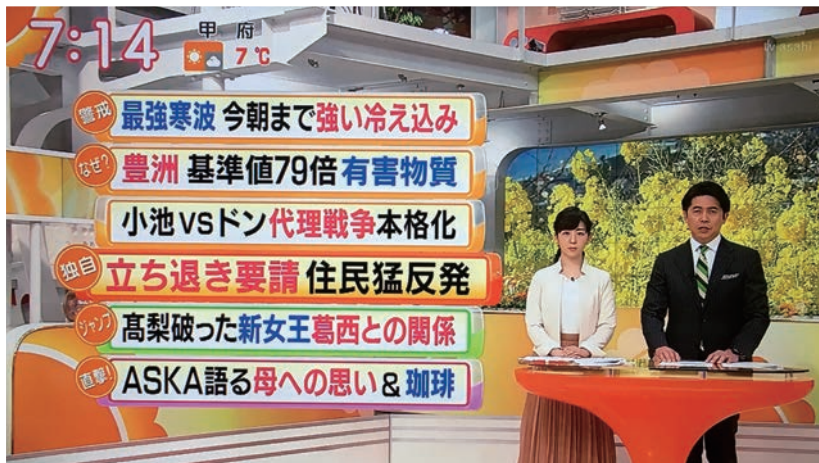
命・健康守る都政改革へ

今回の結果は、豊洲新市場予定地に環境基準を大幅に上回る汚染土壌、汚染地下水が取り残されていることを示したものです。これまでの3代にわたる知事がすすめてきた土壌汚染対策は破たん状態と言わざるをえません。食の安全、命と健康を守る都政改革へ、全力をあげます。

小池知事に申し入れた要望項目

- これまでの地下水モニタリング調査について、調査会社、調査手法を含め全面的に検証し、都民に公表すること。
- 汚染された地下水が上昇して盛り土が汚染された可能性が高いため、盛り土の汚染調査を実施すること。
- これまでの汚染調査、土壌汚染対策工事などについて、専門家会議と異なる見解をもつ専門家も含めて徹底検証をおこない、公表すること。
- 当面、築地市場の必要な補修、改善を急ぐとともに、築地市場の現在地での継続を含め、豊洲移転中止について、本格的検討を行うこと。

“まち壊し”道路は撤回を



16日の早朝、テレビ朝日「グッド!モーニング」の中で、十条で進められている特定整備路線、補助73号線計画について、「立ち退き要請・住民猛反発」と題する取材番組が放映されました。

冒頭、約80人が参加した道路計画に反対する14日の緊急住民集会の様子が映し出されました。壁には、73号線計画など「十条のまちを壊す4つの大罪を問う」と書かれた横断幕が掲げられています。



集会参加者へのインタビューの後、「数千から建設中止の署名を集め小池都知事に働きかける」という今後の方針が紹介されました。



補助73号線は、都内でも有数の商店街の一つ、十条銀座と並行する約900mの道路計画。現道のない住宅地や商店街を貫通します。



道路幅員は20～30mで、北側に接続する環状7号線より広くなる場所も。道路建設によって、約250軒が立ち退きを迫られます。



都は燃え広がり防止を強調するが、東京では南北に強い風が吹き、延焼遮断帯として機能しないのではと疑問を呈す池内さおり衆院議員。



立ち退きを迫られる住民には「代替地」が用意されず、補償額も示されない。まちを追い出された住民はどうやって生活しろというのか。



築130年の家に住むという住民にインタビュー。戦災も逃れ、代々受け継いできた大切な家を奪われるのは「本当に悔しい」と訴えます。